

例会報告 Rotary



地区協議会報告

- 例会日 毎週金曜日 12:30~13:30
- 例会場 高山市花里町 3-33-3 TEL 34-3988
- 会長 下屋勝比古
- 幹事 塚本 直人
- 会報委員長 挾土 貞吉

世界に希望を生み出そう

<会長の時間>

春の高山祭は、2日間とも雨の心配のない桜も急に満開となって気温も高く素晴らしい祭りでした。桜が満開で2日とも降水確率0パーセントというのは50年ぶりとかで、しかも週末開催となりたくさんのお客の方でにぎわいま



した。わが麒麟臺へもたくさん来ていただきありがとうございます。写真だけ取ってさっさと行ってしまふ人、親しげに話しかけて一緒に写真を撮っていく人。屋台の説明を丁寧に聞いてくれる方。そんな中でいつも気になるのは、中でも「これなんぼ?」と聞いてくるのはきまって関西人と中国人であることです。欧州人は庶民の中に古い文化は残っていないようで、屋台そのものについて「使っている素材」「飾りの意味」「屋台の保存や動きかた」など日本人が聞いてこないことを聞かれました。本当にいいお祭りでした。

さて、現在わがローイングチームは今日からパリオリンピックアジア最終予選に臨んでいます。

今回エントリーしているのは、軽量男子ダブルスカル・同じく女子ダブルスカル・女子シングルスカルの3種目で、出場権は順位とタイムによって決まります。今回の派遣基準は、メダルを取れそうなこと。つまり各種目で1位となり、決勝のタイムが世界基準の上位2つに入ることが条件になります。参加ではなく入賞以上に入れるものを派遣するという厳しいものです。これまで、五輪でメダルを獲得したことのない競技は、ハンドボール、ボート、近代五種、7人制ラグビーです。

女子ハンドボールは、先週世界最終予選で惜しくも出場を逃しました。男子はせっかく出場権を取ったのに規律違反で2名が1年間謹慎となり、メダルを目指すチームにとっては残念です。

わが、ローイングチームもメダルを取るために好成績で予選を突破してほしいと願っています。そうなれば6月欧州合宿のサポートに駆り出されます。

<幹事報告>

◎ロータリー財団より

- マルチプル・ポール
- ・ハリス・フェロー徽章
- 塚本 直人 さん へ



◎ガバナー、ガバナーエレクトより

- ・2024年地区研修・協議会 修了証書 米澤 久二 さん へ

◎ガバナーエレクトより

- ・ガバナーエレクト事務所 GW休暇のお知らせ
- 5月1日(水)~6日(月) 緊急連絡先 次期地区代表幹事

<例会変更>

- 高山 … 5月2日(木)は、定款により 休会
- 5月23日(木)は、新緑家族例会のため
- 25日(土)長野県松本市レストラン鯛萬に変更
- 5月30日(木)は、定款により 休会

<受贈誌>

米山記念奨学会(ハイライトよねやま vol289)

<出席報告>

出席者数	会員数	出席率
27名	37名	77.14%

<本日のプログラム>

地区協議会報告

平 康裕

4月13日(土)に国際ロータリー第2630地区 地区研修・協議会に参加してきました。第一セッション「次期RIテーマと地区活動方針」をテーマにお話を聞いてきました。



RI会長のステファニーA.アーチック氏はポリオについて話し、パキスタンに訪れた時にヘルスワーカーの女性たちとお会いすることができ、ポリオをあらゆる場所から根絶することはパキスタン全土でも難しい仕事の一つです。この仕事は困難で危険な仕事、彼女たちは誤情報や先入観と絶えず闘わなければなりません。パキスタンそして世界でポリオが根絶されたら、その大部分は彼女たちのおかげです。

数年前ドミニカ共和国で浄水器の設置を手伝っていました。浄水器の片方から汚い水が入り透明な水が出てくるのを二人の少年が見ていました。少年の一人が私の袖をつかんで「もう一度魔法を見せて」と言って来たのです。こんなエピソードから今年度テーマ「ロータリーのマジック」です。家に帰ったら「ロータリーのマジック」を使って世界を変えましょう。

世界ではロータリーの会員が減少しています。会員が減少している地域クラブ低迷している地域では、慣習を断ち切り改革を視野に会員内の意識改革も必要です。

例会報告

佐藤 貴史

今回地区研修・協議会に参加させていただきありがとうございました。私からは分科会について報告させていただきます。

開会セッション、第一セッション終了後、次年度の役割に応じて各分科会に分かれ、私は新会員の分科会に参加いたしました。会場には地区の新会員約100名の会員が集まり、講師は地区研修ファシリテーターパストガバナーの浦田様が務められました。

浦田パストガバナーからは、ロータリーの歴史やロータリーの理念等についてレクチャーいただきました。まず、ロータリーの歴史についてご説明いただきました。

1900年初頭、経済発展を遂げていたシカゴにおいて、人が集まり商業取引が拡大し各自が利益を追求していくなか、ポールハリス弁護士が1905年2月23日「相互扶助と親睦」を基づく、社交界とは異なる新しい組織としてロータリークラブが結成されたことや、本会は1業種1名で会員の職業は別々であることから競合が発生せず、「親睦の拡大と職業上の利益の向上」を目指す、どちらかと言えば事業の発展を基づいた組織であったと説明を受けました。

その後、「エゴイズム団体に永続性なし。」という考えに基づきカーター氏が問題提起。市民奉仕の重要性を説かれ、組織に「社会奉仕」の概念が生まれたとの事でした。

ロータリーの理念に関しては、2つの基本理念である、①最も奉仕する人が最も報われる、②超我の奉仕(コリンス)やハーバートテイラー氏が提唱された「4つのテスト」について、ポリオ活動が始まった経緯等をご教示いただきました。

今回、歴史や考え方の本質等を学ぶことが出来たのは、これまで活動の意味も理解せず漠然と活動していた私にとっては、非常に貴重な機会となったかと思えます。

また、会員数の状況についても説明を受けました。日本をはじめ、アメリカ、イングランド等先進国と呼ばれる国の会員数が減少している一方で、インドや韓国、台湾等は大きく会員数を伸ばしているとの事でした。会員数が増えるということは資金の確保にも繋がり、より充実した活動が行うことが出来るため、会員増強に対する強い要請がありました。

今回研修会にさせていただいて、ほんの少しではありますが、ロータリーの本質が理解できたものと思えます。また、活動に積極的に参加し、実践と経験を積んでいくことが重要であると感じましたので、ロータリーの歴史、伝統を胸に積極的に取り組んでいきたいと思えます。以上で私からの報告を終わります。ありがとうございました。

高井 道子

今回の地区研修・協議会は、ロータリーの現状と課題を明らかにして乗り越えていこうとする提案がたくさんされた協議会でした。私は、今年度会員増強委員会で活動する機会を与えられ、特に女性の入会に対して期待されているのですが、女性がこの高山西ロータリーに入会して活躍するには、今ロータリーが抱えている変化の時という課題をクリアしていく必要があると思えました。それには、女性の入会だけでなく、多様



な人を入会をも視野に入れて増強していくことが求められていると思えました。

公共イメージ・会員基盤強化の合同分科会の報告で印象的だったのは、公共イメージ委員会の各クラブへの取材で、例会の持ち方には各々違いがあり、そのクラブクラブで工夫しているということで、4つのテストの唱和も、ロータリーソングも毎回するところと、月1回のところがありました。私が思いついた点は、欠席者の名前を読み上げる時間を省き、卓話やその感想を言ったり、他のことに時間を割いたほうが良いと思えました。皆様はどう思いますか？

もう一つ心に強く残ったのは、衛星クラブの推奨でした。新クラブ立ち上げには、30人会員さんが必要ですが、衛星クラブは、8人で現在の高山西ロータリー本クラブの内部クラブとして位置し、細則を本クラブと異なる内容にすることで多様な会員に入会していただくというものです(例えば、安い会費、夜の例会、2回例会、食事なし等)。今までは忙しくて昼の例会は出席困難な方とか、会費がネックの若者とかロータリアンの子息とか本クラブ卒業者とか本クラブへの入会が難しかった方で意欲的な方たちを集め活動すれば、会員増強(多様化)、奉仕活動範囲の広がり、将来のリーダー育成、将来の本クラブ入会等のメリットがあり、退会者も減るのではないかと思います。

つい最近世代交代された会員さんがみえましたが、衛星クラブがあれば親子ともども活躍されたのではないかと、また、先日の卓話に来てくださったNPO法人の奉仕活動の最前線の女性リーダーとかも誘えるようになれば、私たち本クラブ会員の奉仕活動の場も深く広がっていきけるのではないかと強く思いました。今年度は、この衛星クラブ設立を検討していただければ嬉しいです。

堺 和信

第1セッションは「RI活動方針と地区活動方針」について、亀井喜久雄ガバナーエレクトより説明がありました。

2024-2025年度RI活動方針は「ロータリーのマジック」です。ステファニーA.アーティクRI会長エレクトが、ドミニカ共和国で浄水器の設置により汚い水が透明になって出てくるのを見た少年たちが「もう一度魔法を見せて」と驚いたことで、自分たちの活動で他の人たちの人生が変わるということを知り、自分の人生も変わったということです。地域のクラブを突き動かす活動が「ロータリーのマジック」を促進し、新会員が加わることで「ロータリーのマジック」を広げることが出来るということでした。

2024-2025年度地区活動方針は、「地域にインパクトを」です。地域の中で、持続可能でより社会のニーズに即した大きなインパクトをもたらすアイデアを捻出し実践することを熱望されています。限られた時間や予算の中で最大限に効果を上げるには、平等に分配するという発想ではなく、対象の目標に集中し、1つでも多くの成功事例を作り上げ、それを地域に波及させていくことを期待されています。

ロータリーのプロと言われて、RI事務総長兼最高責任者ジョン・ヒューコの講演「ロータリーの最も貴重なリソース」の話をされました。会員が減少し新会員が入会してこないのは、会員が適応と変化に苦勞しているからで、会員のニーズと期待に沿った体験がクラブでできるようにする必要があり、その方法について新会員から提案を募ることが重要であると言われて、その講演の



例会報告

最後に、スティーブ・ジョブズの言葉を紹介されました。彼はアップル社の創業後、一度退職し、同社が業績不振に陥った時復帰しました。その時彼はこう言いました。「アップル社の再建の妙薬は、費用を削減することではない。現在の苦境から抜け出す斬新な方法を編み出すことだ。優れた製品を提供し続けられれば、顧客はいつでも財布を開いてくれると、私たちは信じていた」この言葉は、現在のロータリーに当てはまるということです。

第2セッションは、分科会に別れました。私はロータリー情報委員長と研修リーダー予定者として出席し(1)戦略計画(2)研修情報・職業奉仕の合同分科会でした。私のほかに、岡田ガバナー補佐予定者・米澤会長エレクト・田中晶洋副幹事・鴻野会計理事予定者が出席しました。

(1)戦略計画では「戦略計画と必要性」をテーマに、直前ガバナーの高橋伸治さんによる講演でした。内容としては、最初に国際ロータリーの誕生の歴史、決議23-34、RI戦略計画の説明がありました。RI戦略計画では、現在のロータリーの危機を克服するには、魅力的で持続的成長が可能な強い組織力のあるクラブにする必要があります。そのためには、クラブと会員の「質」と「量」の向上をめざし、「戦略計画の立案」と「会員に対するクラブ研修」をクラブの活性化をはかることが必要であるということでした。

(2)研修情報では、次期研修・学習委員長の岩田勝美さんが講師で、会長の時間において少しでもいいので必ずロータリーの話をしていただきたいということでした。

会長エレクト 米澤 久二

地区研修・協議会に参加いただきました皆様、お疲れ様でした。4名の皆様には例会での報告ありがとうございました。私はこの協議会で変化することの大切さを学びました。参加された皆様の学ばれたことはそれぞれですが、学んだことを次年度の活動に生かしていきましょう。お力添えをよろしく願います。



<ニコニコボックス>

●下屋 勝比古さん、塚本 直人さん

先日の地区研修・協議会に参加された皆様、お疲れ様でした。米澤さん田中さん、次年度よろしく願います。参加された4名の方の報告を楽しみにしています。

●米澤 久二さん、田中 晶洋さん

去る4/13の地区研修・協議会に参加して頂きました皆様お疲れ様でした。プチ宴会として郡上の吉田屋のうな丼を食べて力をつけて頂きました。その力を来期の活動にお貸しください。

●内田 幸洋さん、堺 和信さん、鴻野 幸泰さん、高井 道子さん、堀 幸一郎さん、大屋 尚史さん、佐藤 貴史さん

13日地区研修協議会に出席させていただき大変勉強になりました。帰り米澤エレクトのお蔭で大変おいしいウナギをご馳走になりました。

●平 義孝さん、内田 幸洋さん、斎藤 章さん、田中 武さん、杉山 和宏さん、榎坂 純一さん、中島 一成さん

春の高山祭が終わりました。桜が満開の中、好天にも恵まれコロナ渦以降、最大の人手だったようです。今年は珍しく雨も降らず、夜祭も開催できました。雨が降らないのは8年ぶりだそうです。こんな祭が毎年できれば良いですね。お祭りに関わった方々お疲れ様でございました。今週末は古川祭、5月には飛騨総社のお祭りとなりますが、天候に恵まれ盛況に開催されることをお祈りします。

人間力を高める

第28回

水梨 弘基

高山西ロータリークラブに入会して約2年が経ちました。ロータリークラブに入会させて頂いたお陰で日々とても勉強になっております。今の所休まず例会に出席しています。顔を覚えてもらい少しでも皆様方とお近づきになれたらとの思いです。様々な方々と交流を図り、貴重なお話を聞く事が出来る例会は私にとって人間力を高める時間になっています。

私の思う人間力のある人は

- チャレンジ精神が強い
- 行動力がある
- 経験豊か
- 話し上手
- 人に優しい
- 心に余裕がある

そして何より人生を楽しんでいる人なのかなと思います。

私自身もその様な人間力のある人になれる様、一日一日を大切に、感謝の気持ちを忘れず、この先の人生も邁進して参りたいと思います。まだまだ未熟者です。会員の皆様方には引き続き、ご指導ご鞭撻の程よろしく願います。

拙い文章で申し訳ございません。ありがとうございました。

